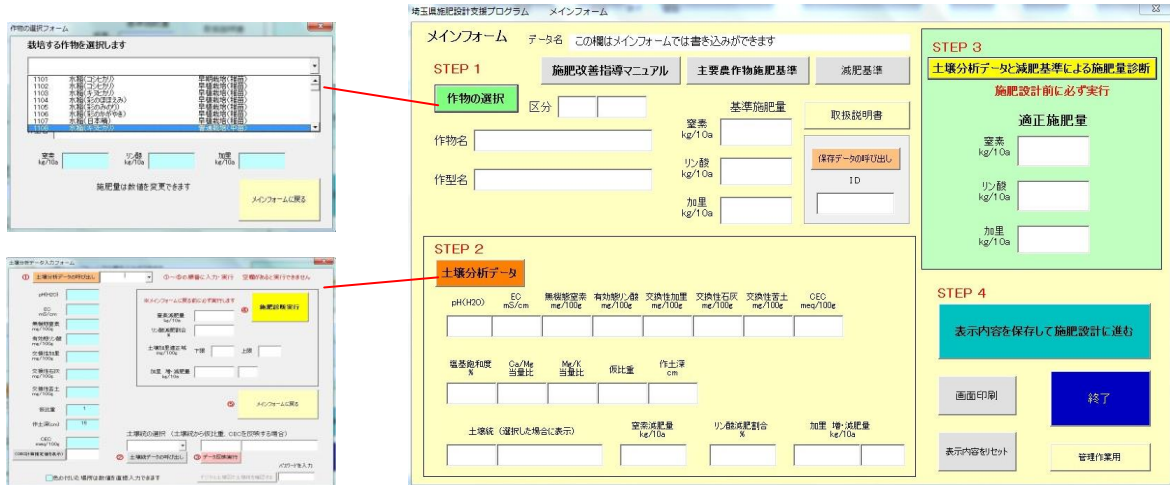


施肥設計支援プログラムで作業効率UP！

埼玉県では、新たに「主要農作物施肥基準」、「施肥改善指導マニュアル」を作成し、堆肥や肥料の施用基準を示しました。

これは、堆肥から供給される肥料成分量を考慮し、農地土壌の診断結果に応じた施肥量の増減を行うというものです。新基準を踏まえた施肥設計では様々な計算が必要ですが、施肥指導者向けに開発した、パソコンの表計算ソフトで作動する「埼玉県施肥設計支援プログラム」を使うことにより、施肥設計を効率よく進めることができます。



適正施肥量の計算画面

(栽培作物の選択と土壌分析結果の入力を行い適正施肥量の自動計算)



塩基バランス（施肥後の推定値）が適正域を外れると色がつくのでわかりやすい（赤は上限を越えた場合）

施肥設計の画面

(特殊肥料と普通肥料の銘柄をデータベースから選択して適正施肥量になるように施用量を調整)

(生産環境・安全管理研究担当 環境安全研究チーム TEL 048-536-0347)